

# BC&FBC SHIMRIN METALLIC BASES

## 一般情報

SHIMRIN メタリックカラーベース (BC&FBC) は、塗装後に最終のクリアーをかけることもできれば、Kandy のベースコートとしても利用できます。またアクリルラッカーかウレタンエナメルの中からトップコートとして使用することも可能です。どちらの材料を使用するか決まれば (アクリル系ラッカーかウレタンエナメルの中から)、その材料ベースの製品でしかご利用になれません。従ってベースコートした後に2つを混ぜ合わせることはお勧めできません。

例えば：アクリルラッカー Kandy で SHIMRIN ベースの上に乘せた場合、アクリルラッカークリアーをお使いください。

## 1. 準備

塗装作業を始める前に、“TECH PREP” をよくお読みください。

ブラスチックフィラーやパテ、ファイバーグラス樹脂やプライマーにより、SHIMRIN ベースに染みが出てしまうことがあります。ポディーまで削り (もしくは OEM プライマーまで落とす)、当社の KP-2CF か KP-21 エポキシプライマーのご利用をお勧めします。KP プライマーについては KP プライマーに関するテックシートをご参照ください。

## 2. グラウンドコート

- ・ プライマー (KP-2CF、KP-21)
- ・ シーラー (KO-SEAL II)

ベースコートをはける前に、車は単色の状態でなければいけません。プライマーとシーラーは BC、FBC メタリックベースのグラウンドコートとして一般的に使われています。また KO-SEAL II シーラーをお使いいただくと、ベースコートの隠蔽性が上がります。シーラーを使う際は、十分な乾燥時間を取ってください。プライマーとシーラーについてはテックシートをご参照ください。

注：シーラーは不十分な下地をカバーする物ではなく、また変色やにじみを防ぐ物でもありません。シーラーの主な目的はトップコートを乗りやすくし、均一な色を作るためです。

## 3. SHIMRIN ベース (BC&FBC) の希釈方法

よく SHIMRIN ベースをかき混ぜ、50%に希釈します (塗料が2にリデューサーが1の比率)。よく混ぜあわせ、ブース温度によって RU-310、RU-311 もしくは RU-312 を選んでください。注：SHIMRIN ベースには硬化剤を使用しません。希釈は必ず当社のコスミックリデューサーのみご使用ください。作業場の環境に合わせて適切なリデューサーを選択するよう心がけてください。

リデューサーに関する詳細はテックシートを参照ください。

注：他社のリデューサーを使用したり、乾燥時間が遅いリデューサーを使用すると、ひび割れ等の原因にもなるので注意してください。また塗料工程を急がせ過ぎて十分な乾燥時間を取らないことがひび割れの原因にもなります。

## 4. SHIMRIN ベース (BC&FBC) の塗装

希釈した後は、ストレーナーにかけてガンに塗料を入れてください。空気圧はペイントガンで 50 ~ 60PSI、HVLV のノズルで 10PSI にしてください。約 6 インチくらいの距離を保ち、約 50%の重複率で 3 ~ 4 回ミディアムコートで塗装します。大きな物を塗装する場合には歩きながら全体を塗装するように心がけてください。コーティングの間には十分乾燥時間を取るようしてください。

Kandy もしくはクリアーを塗装する前は十分な乾燥時間を取って下さい。

(通常は約 15 ~ 30 分、12 時間以上放置してはいけません)。

SHIMRIN 乾燥度テスト - 全ての SHIMRIN ベースコートは乾燥が遅く、次の塗装工程に進む前に軽く指で触って乾燥度をご確認ください。

注：BC&FBC ベースコートの場合はウェットコートを避けてください。ラッカー塗料と同じようにミディアムコートに抑えて、ウェットにしないように心がけてください。約 50%のオーバーラップのミディアムコートで塗装してください。

注：SHIMRIN BC または FBC の 3 コーティングは約 1/2 ~ 3/4mil で、エッジを最低限に抑えられます。

(テーピングを剥がしてもきれいなエッジが残る)。



# BC&FBC SHIMRIN METALLIC BASES

## 5. アートワークとインターコートクリア (オプション)

アートワークにおいて、SHIMRIN ベースコートはとても適しています。

ベースコートに、直接テープを貼るのはお止めください。アートワークをする場合は、SHIMRIN ベースコートの上に直接 SG-100 インターコートクリアをメディアムコートで 1、2 コーティング (ウレタンエナメルトップコートの場合)、あるいは、C-1 カスタムクリア (アクリルラッカートップコートの場合) のご使用をお勧めします。

インターコートクリアもしくはカスタムクリアを塗ることにより、テーピングから SHIMRIN ベースを保護し、アートワークを失敗しても容易に拭き取ることができます。SG-100 インターコートクリアについては、テックシートをご参照ください。

注: SHIMRIN メタリックベースを直接ペーパーがけするのはお止めください。もしもペーパーがけが必要であれば、保護膜として SG-100 インターコートクリアを塗ってから行ってください。

注: SG-100 インターコートクリアは、アートワークテーピングからの保護、もしくは他の商品と混ぜるための製品です。SG-100 は耐候性が無く、4 層以上の塗装はできないため、最終クリアとして使うことはできません。

注: SHIMRIN ベースコートはクリアをかぶせるまで化学抵抗がなく、溶剤で洗うとベースコートが落ちてしまいます。洗浄する場合は KC-20 ポストサンディングクリーナーをお使いください。

## 6. KANDY COAT (オプション)

SHIMRIN デザイナーパールは、アクリルラッカーもしくはウレタンエナメルの Kandy でかぶせることが可能です。もしアクリルラッカーで Kandy 塗装した場合は、必ずアクリルラッカークアをご使用ください。(ウレタンエナメルをご利用の際には同様にウレタンエナメルクリアを使用します)。Kandy の使用方法については、テックシートをご参照ください。

当社の Kandy Koncentrates は SG-100 と混ぜることにより、ベースコート Kandy もしくはグラフィックとして活用できます。

詳細についてはテックシートをご参照ください。

## 7. クリアコート

SHIMRIN グラフィックカラーはすべて (ウレタンエナメルもしくはアクリルラッカーのどちらにも) クリアコートをする必要があります。ベースコートの材料が決まればその後の塗装は全ておなじ種類をご使用ください。クリアコートの使用方法については、テックシートをご参照ください。

## 追記

SHIMRIN BC と FBC ベースは他の色と混ぜ合わすことにより多数の色を作ることが可能です。またネオン、グラフィックカラー BC と FBC メタリックベースコートを含む、他の SHIMRIN 製品と一緒に使用可能ですので色彩が無限大に広がり、世界に一つのカスタムフィニッシュをご自身で作ることができます。SHIMRIN パールとメタリックベースは、タッチアップを容易にするため、直接コスミックカラー Kandy に少量 (25% 以下) 加えて、ご使用いただけます。

硬化剤とリデューサーはポリュームに合わせて比率を合わせてください。

